

ぶな

2020年7月号

NO. 496



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

【巻頭言】

－ ウイズコロナ期の登山 －

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会生活、日常生活に大きな影響を与えました。緊急事態宣言は解除されたものの、従来の生活様式に戻す状況にはなく、ウイルスと共存することを前提とした行動が必要となっています。

雪稜会も6月より自粛が解除となり活動が再開されました。山行においては、今までの遭難や技術的なリスクに加えて、目に見えないウイルスに対するリスクを考えた行動をしなければならない状況です。

今後は、第二波、第三波のリスクも付いてまわり、集団免疫獲得までは数年単位の時間が必要といわれています。マスクを着用したり、ソーシャルディスタンスを確保したりと、しばらくはコロナウイルスを意識した登山スタイルとなります。

山岳医療救助機構から「登山再開に向けた知識」が公表されました。登山計画から下山後のギアの消毒まで留意事項が提示されています。全てクリアすることは、なかなか大変な内容となっていますが、できるだけ実践したいと思っています。

また、入山自粛や登山ルートの開鎖、山小屋の宿泊客受け入れ定員の制限など山を巡る環境も大きく変わってきています。そんな中、なかなか夏山の山行計画も立てづらいのが実状です。

感染拡大予防には、一人ひとりの意識と取り組みが大切です。私たちにとって初めての経験です「想像力」をもって活動したいと思います。

キーワードは、登山再開に向けた知識の提言にもあるように「思いやりのスタイル」ではないでしょうか。

H野 Y治

目次

巻頭言	-----	1
目次	-----	2
運営委員会報告	-----	3
リーダー部会議事録	-----	6
例会案内	-----	7
自然保護担当からの報告	-----	9
例会報告	-----	10
個人山行報告（八雲ヶ原テント泊）	-----	12
※7月号・8月号は例会案内・例会報告・個人山行報告等が少ないと思 われますので皆様からの寄稿文を掲載したいと思います。		
寄稿-1 三角点の話	----- Mr.K・K	13
寄稿-2 衝撃のアルプスデビュー	----- 編集 CL	14
編集雑感・7月予定	-----	15

表紙写真は秋の気配が広がる 8月の比叡山つつじが丘です。撮影 Y本H雄

(例会山行報告) 千石岩～長等山～逢坂山

日時：2020年6月21日(日) 天気：晴れ

参加者：CL N尾 SL N野 SL K原 SL K藤 S内 S井 Y口弥
F野 I井 H浦 S藤 S井 M原 Y本 K林(記)・15名

行程：皇子が丘公園駐車場 9:35～千石岩 10:05～10:15～長等山テラス
10:45 長等山三角点 10:57～四つ辻～長等山 11:20～11:27～小関越え
12:00 逢坂山 12:23 昼食休憩 13:00～蟬丸神社～逢坂の関 14:00
～国道経由～長等公園 14:45～自然の道・歴史の道～皇子が丘公園
駐車場 15:40 (総距離 12.8 km)

皇子が丘公園駐車場集合(直行者多)も早めの全員集合にて10分早く出発、早尾神社の前を通り千石岩までは木立の中、とはいえ200mを一気に登れば汗が流れる。千石岩で一息。ここから長等山縦走路に出るまではマイナールート、ゆえか登山道脇にゴルフボール散乱(皇子山CCから飛んできたものらしい)。長等山縦走路から少し戻って長等山テラス、分岐に戻って縦走路上の三角点、その先の長等山山頂からはどこも景色が抜群(琵琶湖の大花火大会観賞地としてサイコーの声多数)。この辺で数組の登山者とすれ違う。長等山、人気です。山頂から徐々に下っていく途中にはいくつかの分岐がありますが真新しい道標も立っています、知ってるつもりでふわっと間違えかねません、要チェック。山頂から150m降りて小関越えに出ると、そこから再び急坂を登って逢坂山へ。到着の山頂も眺望見事、風が通り、うっとりしい虫も皆無(昼食)。午後の活動は13時～。ここからは標高より距離(ゴールまで8km弱)。歩きやすい道をずんずん進んで降りて蟬丸神社。逢坂山関址から国道沿いをしばらく歩き、旧逢坂山隧道東口見学(一見の価値あり)。その先で国道から離れて長等公園へ(静かでいい雰囲気)。公園からゴールまで歩道歩きかと思いきや、歴史を随所に感じる『自然の道・歴史の道』に入る。三井寺総門前も通過して皇子が丘公園の駐車場に至るまでの道はリーダーが生まれ育った土地だそうで、昔話を語ってくれつつ迷うことなく先導。無事にゴールに到着することができました。コロナの影響で4ヵ月ぶりの例会でした。参加数年ぶりのMさん、心臓手術から生還のYさん含めて15人、密になり過ぎず、離れ過ぎずの心地よい素敵なお一日過ごせました。

〈一口感想〉

自粛明けの初めての山行。色々考えてもらっての近場でしたが、歩きごたえのある(結構へろへろ)山行。間違えやすい道をサラッと行く長尾さん流石です。落ち着いたら何時もの岩ありロープありの、わくわく山行お願いします。

H 浦 A 子

久しぶりの例会山行、6時間の歩行を十分楽しむことが出来ました。マスクを着けたり間隔を開けての歩行は大変でしたが、この様な状況でも何とか出来ることを確認しました。

N 野

千石岩

長等山



逢坂山



(寄稿)

三角点のはなし

山頂で三角点を見たら思わず触れて登頂感を感じている人も多いと思います。ここではそんなお馴染みの三角点について少しお話をさせていただきます。 K. K

- 1 三角点は、三角測量に用いる際に経度・緯度・標高の基準になる点です。一等から四等までありますが、山のランクなどではなく設定された順番によるものです。
- 2 三角測量は、明治15年から全国を一辺約45kmの三角の網で覆うことから始まりました。この時設定された三角点が一等三角点の本点です。さらに一辺約25kmごとに設定された一等三角点補点を加えて全国972点の一等三角網が作られました。ちなみに滋賀県内には一等が11点あります。
- 3 一等三角網を利用して、新たに一辺約8kmの三角点の網が作られます。これが二等三角網です。さらに二等三角網を利用して、一辺約4kmの三等三角網が完成します。この成果を利用して基本的な地図である五万分一地図が作られました。
- 4 標石の大きさは、一等は一辺18cm、二等・三等は一辺15cm、四等は一辺12cm。四角の標石を三角点と呼ぶのか、+印の真ん中の概念上の点と言うことになります。石材は大阪城にも使われた小豆島産の花崗岩が使われます。重さは一等で90kgあります。
- 5 点名(三角点の名前)は、測量技師が命名し、点の記(三角点の戸籍台帳)に記載しました。当時は伊能地図しかなく、地元の人から地名を聞いたようで、山名と一致しない点名も多いです。例えば、近くでは蓬莱山の一等三角点は「比良ヶ岳」、遠くは前穂高岳の一等三角点を「穂高」と命名している。
- 6 三角点の○等の文字が戦前ものは右書きに、戦後は左書き。文字も戦前ものは「角」は「角」に、「点」は「點」の旧字体になっています。また、文字は南面に向きます。
- 7 この三角点の点名は何と言いますか…？ おわり



<自然保護担当からの報告及>

6月7日(日) 10:00~12:00

快晴 湿度低く爽やかで、琵琶湖と山々の眺めは最高

本日は清掃登山の日でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら中止になりました。秋に延期という話もありますがどうなるか解りませんので、今回の予定コースだった小女郎谷コースのごみが目立つ林道部分(八屋戸圃場東屋～登山口)のごみ拾いに行ってきました。

相変わらずたばこの吸い殻、飴の包み、ビニールひも、ビニール袋、ペットボトル、缶、ガラス片、プラスチック片が多かったです。ちょっと拾うのをためらいましたがこのご時世のマスクもありました。それから、業者かと思いますが、木を切った後の枝類が、ビニールひも等のごみと一緒に何ヶ所かまとめて捨てられていました。木だけならまだしも、ごみ迄捨てるのは困ります。また去年の清掃登山でもありましたが、今回も用を足した後の「紙」が「大〇」と共にそのまま道に捨ててありました。さすがに家に持ち帰るのは嫌なのでそのままにしましたが、使用後の紙も持ち帰るよう、更に登山者への啓蒙が必要です。

今後の課題ですが、大津市の農業組合や林業組合に声掛けができないかなと思いました。農業や林業のごみが多いので、皆で一緒にごみ問題を考えていきたいです。また自治体に林道のごみ問題をしっかり報告しなければなど思いました。今までは清掃登山を実行する事だけに精一杯で、なかなかその後の対処ができなかったのも、気が付く良い機会になりました。

最後に、飴の袋など知らずに落としてしまう事が多いように感じました。会員は、自分が落としたかもという気持ちで、普段からごみを拾って下さったらなあと思います。

以上



(ごみの量) 普通ゴミ 35ℓのごみ袋半分
20ℓの袋に、ペットボトル2本、缶3本、その他の燃えないゴミ。

まとめて捨てられている所は、持ちきれないのでそのままにしてみました。来秋に実施される場合は、皆様のご協力どうぞよろしくお願いします。

KH



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

T E L & F A X 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoa139.sakura.ne.jp>